



## 海外留学でよくあるお悩み

### Q. アメリカに大学進学する費用の目安を教えてください

#### A. 学費の差が大きいため、いくつかのパターンに分けて紹介します

## 詳しいアドバイス

アメリカへの留学費用は、平均すると学費だけで年間約300万円程度です。その他も含めると400万円以上はかかるでしょう。しかし、選ぶ学校の種類、留学期間、留学形態によって費用に大きく差が出てきます。

### **私立大学 or 州立大学**

アメリカの大学は、州立大学と私立大学に大きく分類されます。現在、全米には 4年制大学が州立、私立合わせて約1,400校、コミュニティカレッジと呼ばれる 2年制大学が約1,100校あり、合計2,500校があります。

州立大学は州によって設立された大学です。日本の公立大学にあたり、比較的学費は安めに設定されている場合が多いです。地域密着型の 2年制大学(コミュニティカレッジ)はこの州立大学に属しており、短期留学でも受講できるプログラムが多いことが魅力です。

一方、私立大学はアイビーリーグをはじめ、全米でも歴史ある有名校が多く存在します。また、超難関大学と言われるハーバード大学など、多くの学校がアメリカ東部に集中していることも特徴といえます。私立大学の学費は日本よりも高い場合が多く、都市部のため生活費も高額になる傾向があります。

### **留学期間**

アメリカの大学の学期のほとんどは、セメスター制(2学期制)となっています。そのため、アメリカの大学に留学するのであれば、最短で約4ヶ月～半年の留学期間となります。留学期間によって費用は大きく変動するので、留学予算から留学期間を決めることも可能です。

ただし、ディプロマ(修了証明書)取得を目的とした正規留学の場合は、4年間の留学とみておいた方が良いでしょう。当然、費用が高額になることは覚悟しておく必要があります。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: [https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling\\_school/](https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/)

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にも提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © ㈱留学情報館 All Right Reserved





## 海外留学でよくあるお悩み

### 留学形態

アメリカでの大学留学のタイプは様々です。高校卒業後入学する直接入学、日本で大学を卒業して適用単位を移行する編入学 (Transfer)、そして日本の提携大学から1年間限定で在籍する交換留学 (Exchange)などがあります。

中でも、現実的に学費が安くなるのは編入学 (Transfer)でしょう。単位の移行により、留学先の大学で履修する科目が少なくて済むことで、留学期間を短くすることができるからです。

また交換留学の場合も、期間が一年間と限られており、比較的費用は安く済むでしょう。さらに日本の提携大学側から留学費用の詳細説明があるので、費用の概算を把握しやすいといえます。

### アメリカ留学費用節約の定番！奨学金

留学費用を節約するには、授業料の全額または一部が免除されるスカラシップ (奨学金) の制度を活用した方が良いでしょう。アメリカの大学のスカラシップには、インターナショナル・スカラシップ (International Scholarship)と呼ばれる留学生向けの奨学金があります。条件は様々ですが、編入学でも適用される場合もあります。

成績優秀者や、スポーツ・芸術などの功績、リーダーシップなどが選考対象になることが多く、留学生の対応に慣れている大学であれば面接時にスカウトされる場合もあります。

もちろん、スカウトを待つだけでなく積極的に自分から質問してみるのが最も良い方法と言えるでしょう。最近では、日本でも日本学生支援機構による海外留学奨学金が注目を集めています。国内の奨学金と同様に返済義務が生じますが、賢く利用することをおすすめします。

希望大学へだけでなく、日本でもぜひ気軽に相談してみましょう。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: [https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling\\_school/](https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/)

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にも提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © ㈱留学情報館 All Right Reserved

